

1. 気象概況 (中野市長丘地区気象ロボット観測データによる)

月間	旬別	上旬		中旬		下旬		月間		特記・コメント
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
5月	平均気温(°C)	13.1	14.1	17.1	16.0	16.2	17.6	15.5	15.9	月間平年比-0.4°C
5月	降水量(mm)	19.5	16.4	30.0	19.5	43.5	25.3	93.0	61.2	月間平年比152%
5月	日照量(h)	63.6	71.9	43.6	79.2	67.2	82.2	174.4	233.3	月間平年比75%

● 年度別氷点下-10°C以下遭遇(12-3月)16回 *過去5年で最多は2017の21回。

2021 5月気象ポイント解説 *低温・多雨・日照不足

- ◆ 気温：最高 30.3°C(5/15) 最低 0.7°C(5/3) 夏日：2 真夏日：1
- ◆ 降水量：大雨 16.0 mm (5/1) 20.0 mm(5/17) 27.5 mm(5/21) 11.0 mm(5/27)
- ◆ 日照量：日照不足 *一部で光合成低下による生理障害発生あり
- ◆ 4月凍霜害(凍害)

観測値：4/9 (-3.3°C)・4/10 (-3.3°C)・4/11 (-4.2°C)・4/27 (-3.2°C)

被害概要：蕾枯死・めしべの枯死・褐変(立ち木品目)・ぶどう芽枯死・発芽(生育)不良・アスパラガス・ズッキーニ枯死他

2. 生産の経過・病害虫発生状況・今後の対策

【生産特記2021】

- 生産基盤(推定)：ぶどう 350ha・りんご 150ha・もも 83ha・和梨 12ha・西洋梨 6ha・桜桃 7ha・柿 6ha・プラム 38ha
- ハウスぶどう：5/9 シャイン初出荷。生育は前進傾向。早期加温にシャインM縮葉症目立つ。出荷ピーク7月中旬～。シャイン構成比率50%。
- ハウスサクランボ：被覆棟数21棟、初出荷3/31～。最終6/10頃。ハウスもも：結実良好。初出荷 紅国見5/2～。
- ハウスプラム：初出荷 貴陽5/16。最終5/29。
- 生育経過：4月の天候不順で生育停滞。露地ぶどう平年より遅れている見込み
開花：プラム4/2 もも4/8 ナシ4/13 りんご4/20 巨峰6/5 シャイン6/8 *平年比▲10。軒並み過去最速。
満開：プラム4/8 もも4/13 ナシ4/19 りんご4/27 巨峰6/8 シャイン6/13 *果樹平年比▲10。ぶどう平年並み予想。
- 生産量見込み(昨年比)
 - ◆ りんご90%、もも90%、和梨20%～30%、西洋梨100%、プラム150%、露地サクランボ20～30%、柿90%
 - ◆ ふじ作況調査(5/末)：果そう結実率50%前後。中心果結実率20%前後。特に中心果の結実が悪い。サビ・変形果等が散見される。
開花期間が非常に長かったため、果実肥大のバラつきが大きい。
 - ◆ 収穫開始：大石6/20、菅中7/10、サマーE7/20、貴陽7/25、たまき7/5、白鳳系7/18、あかつき7/21、なつつこ8/2、川白8/17 *平年比▲10
 - ◆ 露地ぶどう：ナガノパープル100% シャインマスカット120% ぶどう全体で110%見込み
 - ◆ 露地ぶどう収穫解禁：ナガノパープル8/29・有核巨峰8/29・種なし巨峰9/5・シャインマスカット9/12・クイーンルージュ9/26

【2021病害虫対策】 *梅雨入りが例年よりもかなり早まると予報されているため、病害対策・予防散布を徹底する。

- 腐らん病：4月以降果台部や小枝の被害目立つ。被害部の削り取りや被害枝の除去は見つけ次第早急を実施する。
- せん孔細菌病：開花期から春型枝病斑が枝の中央部および先端部に散見。(密度は低い) 当面は防除間隔を10日で進める。
- 黒星病：5/末現在、新梢葉の被害は少発生。5月下旬の降雨により感染している場合は、現在潜伏中のため注意必要。
- べと病：5月中旬の多雨・日照不足で早期感染拡大が心配される。
- 黒とう病：発芽前防除の早期実施により初期蔓延はない模様。一部の若木で枝病斑散見。
- ふくろみ病：プラム菅野中生等で発生。被害果実は園外へ除去し次年度の越冬菌密度を下げる対策必要。
- マイマイガ：5月中旬からりんご等で発生。葉(一部果実)の被害あり。部分的な被害が目立つ。
- スモモヒメシンクイ：5月中旬からプラム園において越冬世代の初期発生開始。現状、発生密度は低いが、今後増加してくると予想される。
- カスミカメムシ：ハウスシャインマスカットで展葉2-3枚目付近・展葉5-6枚目の被害あり。部分的な被害が目立つ。
- カイガラムシ類：プラム・もも・りんごで寄生目立つ。ウメシロカイガラは5/15前後～、ナシマルカイガラは6月初旬～専用剤散布徹底必要。
- キンモンホソガ：一部で開花期から発生確認。現状、大きな発生はない。
- アブラムシ類：4月下旬からプラム・りんご・ナシ等で散見。